

【公募情報】日本医療研究開発機構（AMED）「免疫アレルギー疾患等実用化研究事業（免疫アレルギー疾患実用化研究分野）（二次公募）」

平成 27 年 7 月 13 日

信濃町地区研究者各位

信濃町キャンパス 学術研究支援課

7 月 8 日付で『免疫アレルギー疾患等実用化研究事業（免疫アレルギー疾患実用化研究分野）（二次公募）』について新規課題が公募されました。

ご応募を検討されている研究者におかれましては下記照会先までご一報くださいますようお願いいたします。

(1)応募意思の申し出締切：【平成 27 年 7 月 15 日（水）】

(2)応募書類一式提出締切：【平成 27 年 7 月 17 日（金）】

【注意点】

- ・ 本学で応募が可能な方は、本学と雇用関係のある”常勤”の研究者となります。
- ・ 提案書の提出方法：【e-rad】

免疫アレルギー疾患等実用化研究事業（免疫アレルギー疾患実用化研究分野）（二次公募）

<http://www.amed.go.jp/koubo/010520150708-03.html>[外部ページ]

—公募概要—

【提出期間】平成 27 年 7 月 8 日～平成 27 年 7 月 28 日（火）（正午）

【研究開発課題】

環境因子（常在細菌、ウィルス叢）に焦点を当てたアレルギー疾患の病態解明及び新規アレルギー治療法の開発等に関する研究

【研究費の規模】1 課題あたり 4000 万円/年（間接経費を含む）

【研究期間】最長 1 年度（2015 年度）

【採択課題数】1 課題程度

【目標】アレルギーマーチ（アトピー性皮膚炎、気管支喘息、花粉症、食物アレルギー、アレ

アレルギー性結膜炎等）患者等の既存検体を用いた常在細菌、ウィルス叢ゲノム解析と、患者等の免疫動態の観察（免疫制御細胞等）を並行して行い、新規治療法開発に資するアレルギー疾患の病態解明に関する画期的な発見、あるいはシーズの開発等を目標とする。

【求められる成果】

各研究開発課題の進捗状況に応じた、病態の解明に関する画期的な発見を示す資料（研究班が作成した原著論文等）、試験物の規格決定、試験物の製造体制整備（製造工程記録一式）、非臨床 POC 取得、非臨床安全性評価（非臨床試験総括報告書）、治験開始（治験薬概要書、医師主導治験実施計画書）、治験完了（医師主導治験総括報告書）、薬事承認/認証申請（治験薬概要書最終版）等。

【採択条件】

- ・アレルギーマーチ（アトピー性皮膚炎、気管支喘息、花粉症、食物アレルギー、アレルギー性結膜炎等）の患者等の既存検体を用いた常在細菌、ウィルス叢ゲノム解析と、患者等の免疫動態の観察（免疫制御細胞等）を並行し、疾患の病因・病態を総合的に解明する研究であること。
- ・得られた環境因子のゲノムデータは数年後を目処に開示を求める場合があり、それに応じられること。
- ・解明された病因・病態に基づいた予防、診断及び新規治療法の開発を期待できる研究を優先的に採択する。
- ・内容・時期等が適切、かつ明確なマイルストーンが設定されていること。

担当（照会先）：信濃町キャンパス 学術研究支援課 AMED 担当
メール：amed-shinano@adst.keio.ac.jp